

# 横浜医療情報専門学校

## 2021 年度学校関係者評価会議事録

日時	2021年8月24日(火) 14:30~15:30	
場所	横浜医療情報専門学校 4階 402室 ならびに オンライン	
参加者	学校関係者評価委員	中村 ふじ 様 (神奈川県総合教育センター 人材育成課 教育指導員)
		二宮 克行 様 (医療法人社団 顕鐘会 神戸百年記念病院 理事・事務長)
		真野 誠 様 (日本電気株式会社 医療ソリューション事業部 シニアマネージャー)
		神崎 昭悟 様 (株式会社カケハシ)
		奈良谷 歩 様 (保護者代表)
	本校教職員	小松 加代子 (教務部 部長)
		鈴木 和江 (教務部 課長: 医療事務科 学科まとめ)
		平塚 智文 (教務部 課長補佐: 医療 IT 科 学科まとめ)
資料	・当日説明用スライド資料	

## <議論の要旨>

### 1. 教務部長挨拶（小松）

- ・2012年に横浜医療情報専門学校に校名変更し、同時に医療IT科を開設、その後、診療情報管理専攻科開設し10年目を迎える。これを節目に、今まで以上に即戦力を持った人材育成を目指していく。これから18歳人口も減ってくる状況において、学科編成や人材育成を見直すのいい機会であると考えている。本日は、委員の皆様のお立場から忌憚のない様々なご意見を頂きたい。

### 2. 2020年度総括（小松）

#### 2020年度の目標と取り組み成果

- ・就職確定率96%以上を目標値にしていたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受け未達。一要因として、例年後半に集中する医療機関（クリニック）からの求人が伸び悩んだことが挙げられる。また、コロナ禍において、学生の就職へのモチベーションが低下した事に加え、医療機関に就職する事について、保護者が難色を示すケースが散見された。
- ・医療IT科の学生が受験を予定していた医療情報技師能力検定試験が新型コロナウイルスの影響を受け中止。
- ・診療報酬請求事務能力認定試験については12月に検定試験の実施があり、感染拡大が落ち着いたこともあり、登校日を増やし対面で学習できたことで結果を出せた。
- ・退学率については、目標値を大きく下回り非常に良い結果となった。学生、保護者と学校との信頼関係で、このような結果が出たと考えている。今年度も退学者が少なくなるように努めていく。

#### 2020年度 総括データ

##### ①教育理念・目標

- ・教育理念については、学科ごとに教育目標や人材目標を明確にしているが、全ての授業科目への反映は十分でない。各学科のカリキュラム構成の中で、各々の授業の位置づけを明確にする必要がある。
- ・教育理念・目標の保護者への周知は、例年、年度当初に保護者会を実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止した。今年度はオンラインで実施し、ご参加頂けなかった保護者に向けて、内容を録画しオンデマンドで1週間程度配信させていただき対応をとった。

##### ②学校運営

- ・昨年からオンライン授業を支援する学習支援システム（スタログ）を導入している。紙ベース授業からオンラインを使って、教材の配布、課題の提出、小テスト等を支援するシステムである。システムの利用についてはITリテラシーにも差があり、非常勤講師を含め使いこなすところまでいっていないのが課題である。今後も学習支援システムを使いながら対面とオンライン授業を並行して行っていく。また、グループウェア等を学園全体で導入し業務の効率化も図っていく。

##### ③教育活動

- ・2020年度の前期はオンライン授業、後期から一部登校し対面の授業も行った。しかし、検定試験などが中止となったため、人材育成としてプログラムしていたカリキュラムが達成できなかった部分がある。学生自身が目標に近づけるように、また、学生の教育の機会を奪わないように、次年度に向けてさらなるカリキュラムの見直しを行っていく。

##### ④学修成果

- ・コロナ禍において例年と異なる就職活動になった事や、オンライン授業が続いたため個別の就職指導が難しい状況となり例年より就職率が低下した。特にオンラインで面接をするという環境は学生も全く未知の世界で、オンラインだと自分の言いたいことを言えない、あるいは機器の問題やPC側の問

題で面接が上手くいかなかったケースが見受けられた。今年度の卒業年次生については、オンライン面接についてのレクチャーを行い、授業でもカメラオンにしてもらうなど、面接に対応できる環境が整っているか確認をし、就職活動に取り組んでもらっている。また、卒業までに就職ができなかった学生のために就職支援保証制度を岩崎学園全体で立ち上げ、卒業後5年間はフォローできる体制を整備した。また、卒業生の就職後の動向について把握していくため、岩崎学園全体で人材データベースを構築していく計画がある。

#### ⑤学生支援

- ・昨年度は卒業生講話が一部のみの実施となったため、今年度も継続して行っていく。経済的側面の支援について行政の方で高等教育の学費無償化が始まり、本校でも実施をしている。また、学生主体で行っているイベント（オンラインビンゴ大会、タイピング大会、七夕飾りなど）を通じて友達作りの場を提供している。

#### ⑥教育環境

- ・コロナ禍においても安心安全に教育を受けられるための環境整備として、教室内の窓やドアを開放し、工場扇を使用してフロア内の換気を行っている。玄関ならびに各教室の入口には手指消毒を設置し、登校時に消毒を徹底している。また、黙食ポスターを貼り、飲食時の感染防止を周知している。教室の机については、午前、午後の2回、学生各自が使用した机上を消毒するようにしている。

#### ⑦学生の受け入れ・募集

- ・定期的に SNS 等を更新し情報発信していく。本校の学生会と連動し、積極的に外部発信を行う。

### 2021 年度目標と取り組み

- ・重点項目「就職率の向上」、「学生がチャレンジできる場を広げる」、「外部連携を拡充する」
- ・コロナ禍における新しい教育手法の確立
- ・診療情報管理士試験合格率（専攻科）80%目標
- ・岩崎学園7校合同アイデアソンに取り組む（発想力豊かな人材を育成していく）
- ・新入生は医療事務科、医療IT科ともに「診療報酬算定」・「IT基礎」を学習
- ・オンラインと対面のハイブリット授業（週2日程度登校）を継続 ※登校科目の精査
- ・学習管理システム（スタログ）の本格稼働

### 3. 意見交換

- ・コロナ禍となりオンライン化が進んでいる。しかしながら仕事はまだ対面のことが多い。この先も対面はなくなるので、コミュニケーション能力の育成は今後も力を入れていく必要がある。また、とある高校では、定期試験を2回実施し、1回目は全員受験し2回目は希望者だけ受験するという方法をとっている。2回目を受ける前にできなかったところを再度振り返ることで勉強する習慣がつくので、理解力が低い学生やオンライン授業に上手くついていけない学生にとって良い方法となるのではないか。また、あるデータによるとコロナ禍で一日に歩いた歩数が2000歩に届かなくなって人が増えている。人間は歩かないと脳と心臓が弱り、体に影響が出てくる。特に若い世代は、コミュニケーションと共に自分の体を健康に保つことが重要なので、健康面での指導も大切である。（中村）
- ・就職支援保証制度は素晴らしい。医療機関の立場からみても欲しい人材は経験者であることが多い。やめる理由は何であれ経験をどこかでしているということは大切である。この制度を学校内で定着させていくのはもちろんだが、再就職としても利用し、取り組みを医療機関にアピールすることもできるので

はないか。再就職率という形で指標が出てくるので、もっとこの制度を成熟させていけばよい。就職に関しては医療機関もコロナ禍でいい人材が取れていない現状もあり、学校から医療機関に対して 求職に困っていないか等のヒアリングをしても良いのではないか。(二宮)

- ・医療情報技師認定試験等が中止になる中で、学生の目標が失われている部分がある。自分を高めていく活動が少なくなると達成感がなくなってくるのでフォローが必要である。また、SNS等のツールをオンライン上でどう活用するか、コロナ禍でどんなスタイルの授業を行うか検討することも必要で、そのためにはオンラインの利点と欠点を知りリスク分析しておく必要がある。例えば、いろいろな事情によりオンラインで行った授業を聞き逃してしまうこともあるので、オンデマンドで配信することも大切である。(真野)
- ・現在、スタートアップ中のIT企業で、ほぼ出社はせずオンラインで仕事をしている。その中で、対面でのコミュニケーションとオンラインでのコミュニケーションは異なると感じる。特にオンラインのコミュニケーションは、Zoomを利用するだけではなくテキストベース(slack等)のコミュニケーションも発生する。話す言葉とslack上で書く言葉には、同じことでも相手に伝わり方が違う。オンラインのデメリットもあるが、特に開発職において、若い人はオンラインありきになっている面もある。その中で、対面でのコミュニケーションの良さを重視しつつ、オンライン上でのコミュニケーションでも活かしていけるか、また、いかに自分の考えを相手に伝える話し方ができるかという方法を身につけておいた方が良い。(神崎)
- ・就職支援保証制度は大変良い。今年度、来年度の卒業生がどういうところに就職するのか、子供や親にとっても関心事である。どういう資格を取得していれば、どんなところに就職できるのかが分かれば、親としても応援しやすい。また、万が一、卒業するまでに就職できなくてもサポートが受けられるというのは安心である。この先、もっといい制度になってくれることを期待する。リモート授業については、だらけていることもあるので、学生同士が会話できたり、授業で発言させるなど、一方通行でないスタイルの授業の方が、本人も気が引き締まり良いと思う。(奈良谷)
- ・お弁当をもたせているが、子供から学校内に設置してあるレンジの清掃が行き届いていないと聞いている。コロナ禍ということもあり、電子レンジ内も清潔に保ってほしい。(奈良谷)  
→電子レンジを各フロアに設置しているが、清掃については不十分であった。早急に改善できることなので対応方法を検討します。(小松)  
→授業については、常勤、非常勤ともに一方通行でない授業をお願いしているが、科目や授業内容によっては一方通行的な授業になっていることがあると思われるので、後期に向けてしっかりと周知していきたい。(小松)

委員の皆様から頂いた貴重なご意見を、本日の出席者以外の教務部メンバーにもフィードバックし、より良い学校運営を行うために活かしていきたいと思っております。本日はお忙しい中ありがとうございました。(小松)

以上